

愛知医療学院大学／短期大学 研究倫理のためのチェックリスト

研究遂行にあたっての倫理上の配慮、および倫理委員会に提出するための申請書を記入する際には、このチェックリストを参考にしてください。倫理委員会における倫理審査においても、このチェックリストの内容が満たされているかどうかを審査基準とします。

【チェック項目】

1. 研究対象者の選定方法

- 研究対象者の選定は適切か。
- 研究対象者選定のプロセスが説明されているか。
- 研究協力への依頼が強要になっていないか。
- 研究対象者および家族への心情の配慮がなされているか。

2. 研究対象者に理解を求める方法が明確にされているか

- 説明内容を記した「依頼文書」、「説明文書」が準備されているか。
- 読み手の特徴に合わせて理解を得やすい用語・言葉つかいとなっているか。
- 研究の目的、方法、手順が適切に説明されているか（使用器具を含む）。
- 研究への参加を拒否できる配慮がなされているか。
- 研究対象者は中途でも自由に撤回や辞退ができること、それをして不利益にならないことが説明されているか。
- 研究対象者あるいは社会が得る利益などについて説明されているか。
- 研究対象者への説明事項は、必要不可欠と認められるものだけに限っているか。
- 説明書には、研究者の氏名や所属、連絡先が記されているか。

3. 研究対象者に同意を得る方法が明確にされているか

- 本学の様式を使用した「同意書」が準備されているか。
- 同意書には、研究者からの十分な説明の上で同意した（インフォームド・コンセント）旨の文書が記されているか。
- 研究対象者の自立度（責任能力、判断能力を含む）に応じて、親や家族（代諾者）の同意を得るようになっているか。
- 同意書には、研究者の氏名や所属、連絡先が記されているか。
- 同意書には、日付欄、および研究対象者の署名欄と説明者の署名欄が記されているか。

4. 個人のプライバシー（秘密の保持、匿名性）は守られているか

- 研究者以外の人に研究対象者の個人情報が入り込まないような配慮がなされているか。
- 研究結果等は、匿名化された上、学会等に公表されることが説明されているか。
- 研究終了後のデータ保存、利用、破棄方法は適切に考慮されているか。

5. 安全性に対する配慮がなされているか

- 研究対象者が直接こうむる不利益が最小限に抑えられるように配慮されているか。
- 研究対象者の身体の安全が図られているか。
- 研究対象者が心身ともに安心して研究に参加できるように配慮されているか。
- 調査・研究によって生じる研究対象者への不利益および危険性に対する配慮がなされているか。